

**参考資料**

---

【策定体制について】

都市計画マスタープランの策定に当たっては、市民アンケート調査や地域別懇談会、パブリックコメントによる市民意向を取り入れた計画素案を作成します。

作成した素案は、策定委員会での検討を経て原案となり、その後、計画原案を関係部長会議に諮り、計画案となります。

計画案は、市長から市議会へ報告し、都市計画審議会<sup>55</sup>での議を経て、都市計画マスタープランが決定・公表されます。

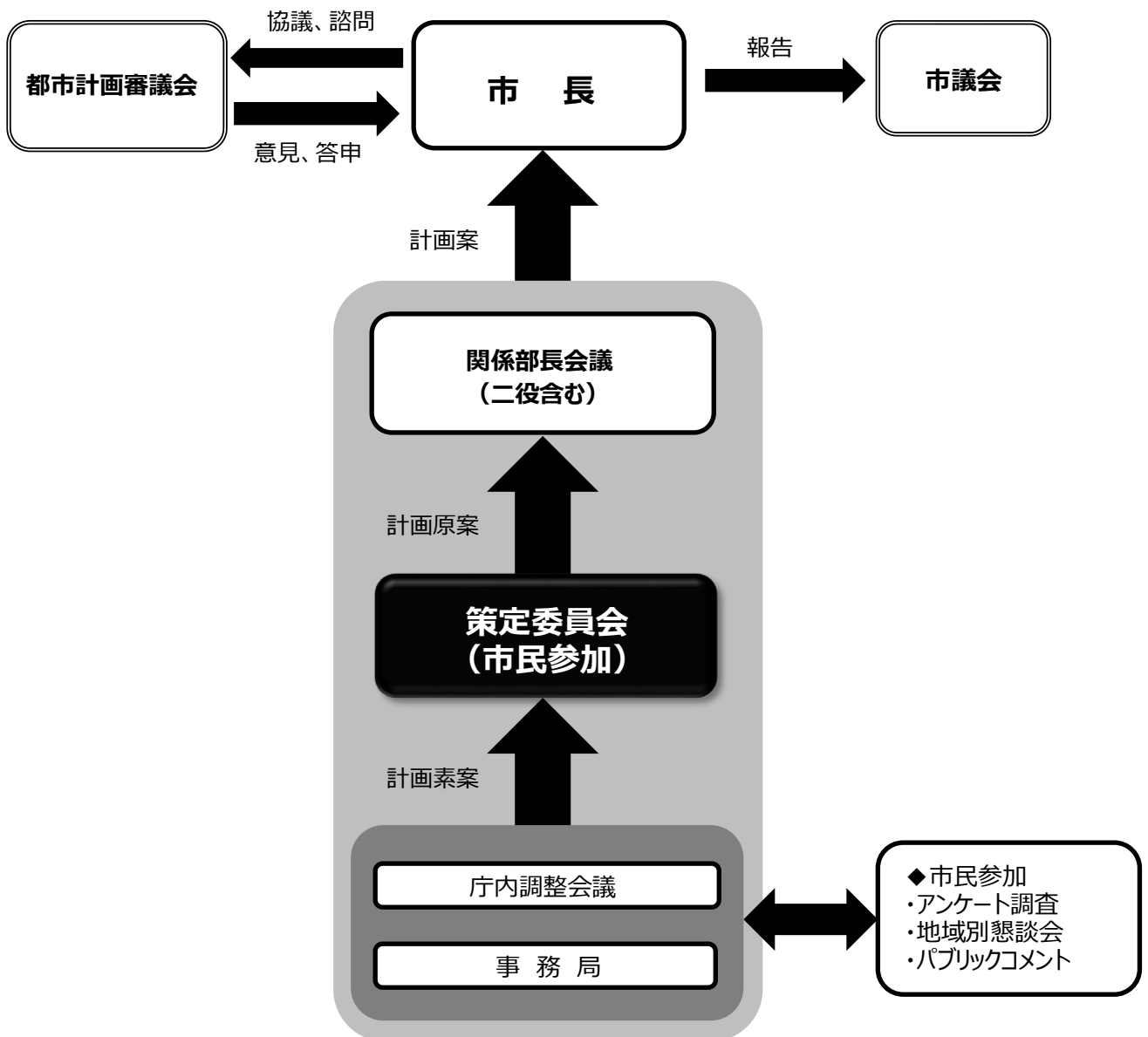


図 6-1 都市計画マスタープランの策定体制

<sup>55</sup> 都市計画審議会：本市が都市計画を定めたり、市長の諮問に応じ、都市計画に関する事項を調査・審議するため、都市計画法に基づき設置している

小樽市都市計画マスタープラン策定委員会名簿

(敬称略)

職名	氏名	分類・所属		備考	
委員長	高野 伸栄	学識経験者	北海道大学公共政策大学院 教授		H30、H31
副委員長	大津 晶	〃	小樽商科大学商学部社会情報学科 准教授		H30、H31
委員	寺下 知志	住民の代表 (団体)	商工業	一社) 北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部	H30、H31
〃	辻 勇司	〃	住宅	社) 北海道建築士会小樽支部	H30、H31
〃	白井 広宗 五十嵐 俊克	〃	交通	小樽市地域公共交通活性化協議会	H30 H31
〃	三船 貴史	〃	福祉	社福) 小樽市社会福祉協議会	H30、H31
〃	佐々木 かをる 嶋 孝子	〃	自然・緑	小樽フラワーマスター連絡協議会	H30 H31
〃	米花 正浩	〃	観光	社) 小樽観光協会	H30、H31
〃	杉山 奈穂子	〃	子育て	子育て支援ボランティアサークル ホワイトウイング	H30、H31
〃	荒谷 五十雄 佐藤 彰芳	住民の代表 (地域)	北西部地区 (小樽市総連合町会)		H30 H31
〃	増田 榮治	〃	中部地区 (小樽市総連合町会)		H30、H31
〃	西野 博孝	〃	東南部地区 (小樽市総連合町会)		H30、H31
〃	中島 史也	住民の代表 (公募)	一般公募		H30、H31
〃	藤井 優	〃	一般公募		H30
〃	水戸 龍雄	〃	エントリー制度公募		H30、H31
〃	瀬能 博之	その他 (関係 行政機関)	北海道開発局小樽開発建設部		H30、H31
〃	高橋 浩揮	〃	北海道後志総合振興局小樽建設管理部		H30、H31
				各合計 16名	

## 小樽市都市計画マスタープラン策定委員会の設置及び運営に関する要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、都市計画法第18条の2に規定する、市町村の都市計画に関する基本的な方針（以下「都市計画マスタープラン」という。）を策定するにあたり、広く市民の意見を聴くため、小樽市都市計画マスタープラン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営について必要な事項を定めることを目的とする。

### (組織等)

第2条 委員会の委員は、16人以内で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 住民の代表（市民団体）
- (3) 住民の代表（地域の代表）
- (4) 住民の代表（公募委員）
- (5) その他（関係行政機関）

2 委員としての委嘱期間は、都市計画マスタープランの策定が完了するときまでとする。

### (委員長及び副委員長)

第3条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委嘱された委員のうちから委員の互選によってこれを定める。
- 3 委員長は、会務を掌理し委員会を代表する。
- 4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する副委員長がその職務を代理する。

### (会議)

第4条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が召集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者の意見又は説明を求めることができる。

### (庶務)

第5条 委員会の庶務は、建設部において行う。

### (委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の議事その他運営等に関し必要な事項は、委員長が定める。

### 附 則

この要綱は、平成13年5月21日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成30年3月22日から施行する。

【小樽市都市計画マスタープラン改定の経過】

●小樽市都市計画マスタープラン改定の経過

会議等	開催日	議題等
市民アンケート調査	平成 30 年 4 月 27 日 ～5 月 14 日	配布数 3,000 人（無作為抽出） 回収数 727 票、回収率 24.2%
第 1 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	平成 30 年 7 月 31 日	策定スケジュール、都市計画マスタープランとは、本市を取り巻く社会状況
第 2 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	平成 30 年 11 月 16 日	市民アンケート結果、現行計画の成果、2 次計画の構成、目指す方向性
第 3 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	平成 31 年 3 月 28 日	将来都市像、基本目標、部門別方針（基本的考え方）
地域別懇談会	令和元年 5 月 18 日	9 地域から 52 人参加 テーマ：地域の宝物について
第 4 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	令和元年 5 月 31 日	部門別方針（整備方針）
第 5 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	令和元年 9 月 4 日	都市計画マスタープランについて、地域別方針、都市計画マスタープランの推進に向けて
第 6 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	令和元年 10 月 29 日	原案とりまとめ
第 184 回 小樽市都市計画審議会	令和元年 11 月 12 日	（協議）
パブリックコメント	令和元年 12 月 9 日 ～令和 2 年 1 月 7 日	2 人から 1 2 件の意見提出
第 7 回第 2 次小樽市都市計画マスタープラン策定委員会	令和 2 年 2 月 4 日	原案修正
第 185 回 小樽市都市計画審議会	令和 2 年 2 月 10 日	（諮問、答申）



策定委員会の開催の様子

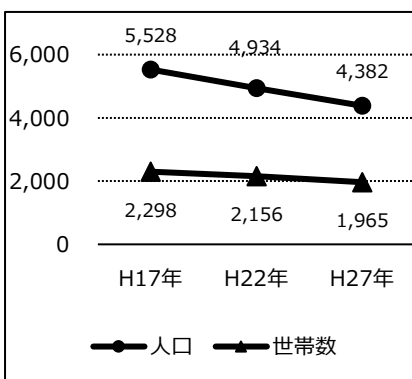


【地域別方針に係る資料（第4章関連）】

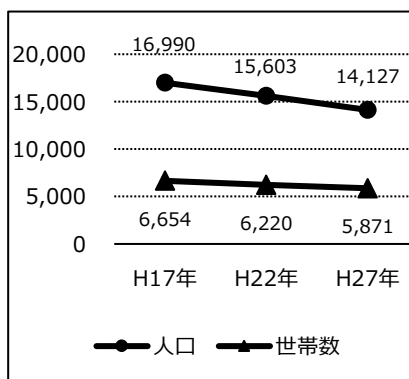
1) 地域別人口・世帯人員

地域	人口減少率 (H17~H27)	世帯人員 (H27)	地域	人口減少率 (H17~H27)	世帯人員 (H27)
塩谷	20.7%	2.23 人/世帯	山手	13.5%	2.03 人/世帯
長橋・オタモイ	16.9%	2.41 人/世帯	南小樽	14.4%	2.11 人/世帯
高島	20.9%	2.31 人/世帯	朝里	9.0%	2.49 人/世帯
手宮	25.9%	2.11 人/世帯	銭函	13.3%	2.39 人/世帯
中央	9.9%	1.80 人/世帯	全市	14.4%	2.20 人/世帯

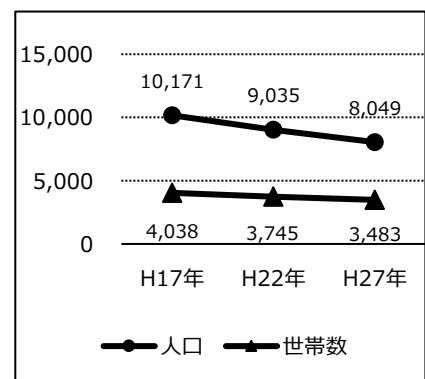
■ 塩谷地域



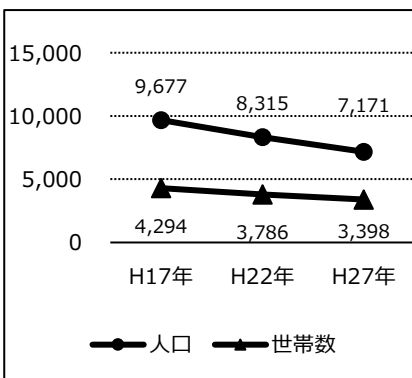
■ 長橋・オタモイ地域



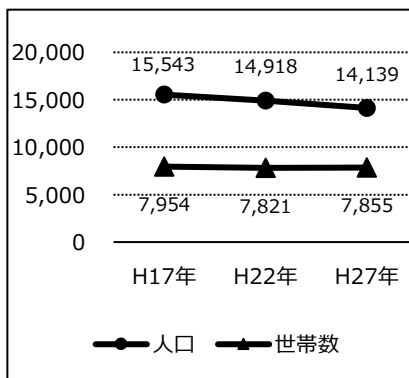
■ 高島地域



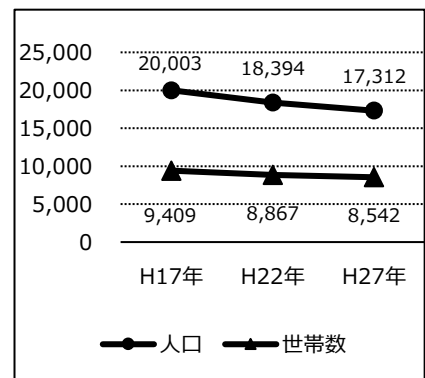
■ 手宮地域



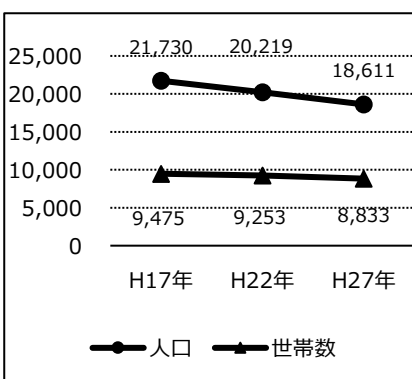
■ 中央地域



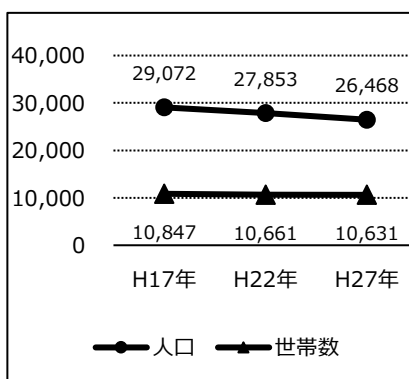
■ 山手地域



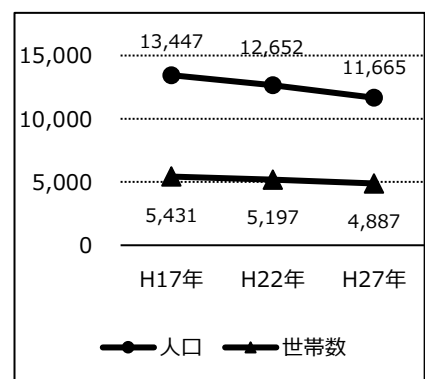
■ 南小樽地域



■ 朝里地域



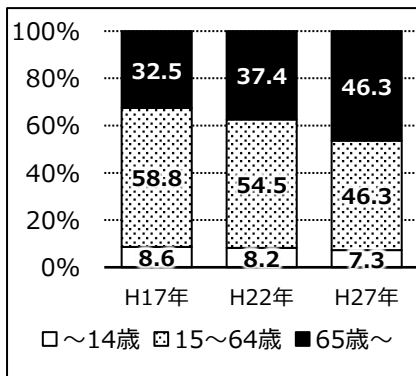
■ 銭函地域



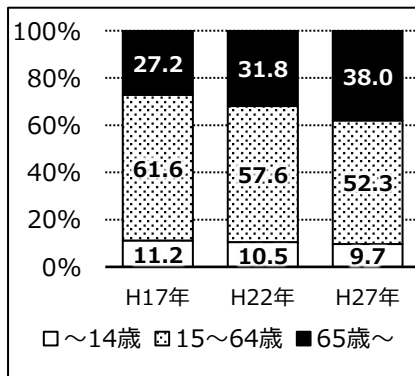
(資料：各年国勢調査)

2) 3 区分年齢階層構成比

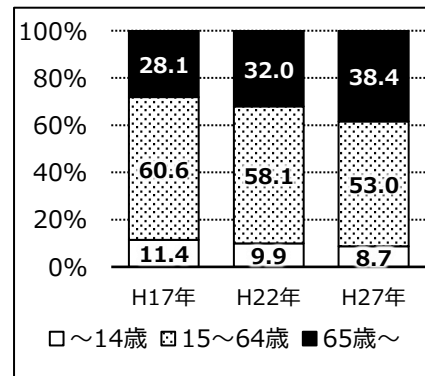
■ 塩谷地域



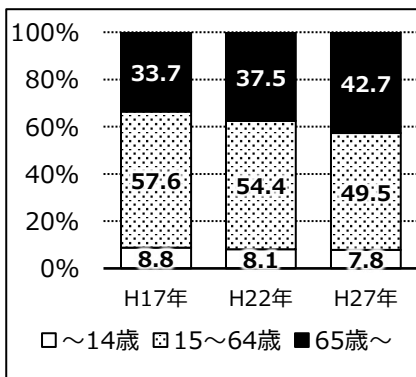
■ 長橋・オタマイ地域



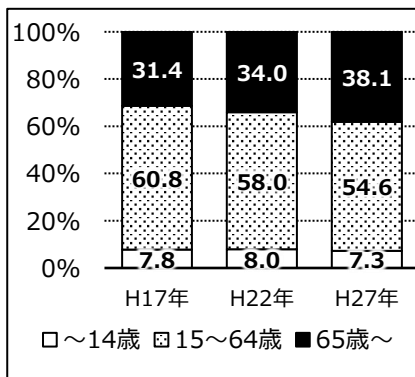
■ 高島地域



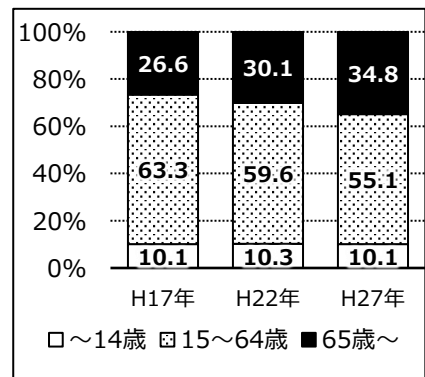
■ 手宮地域



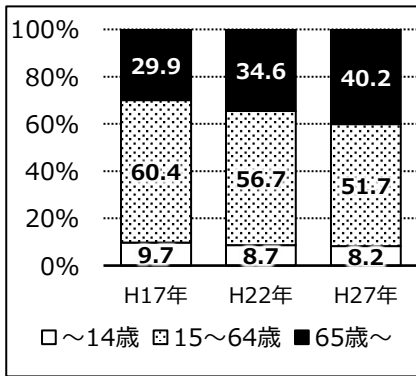
■ 中央地域



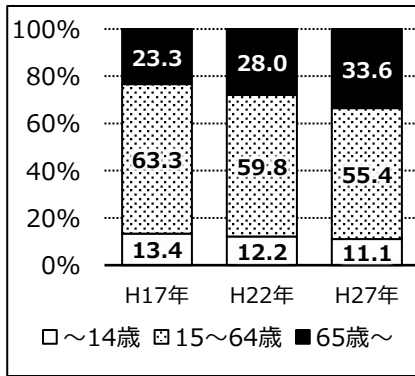
■ 山手地域



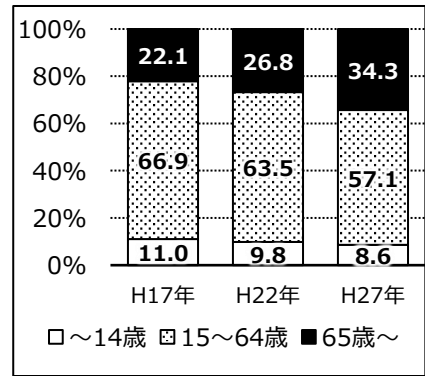
■ 南小樽地域



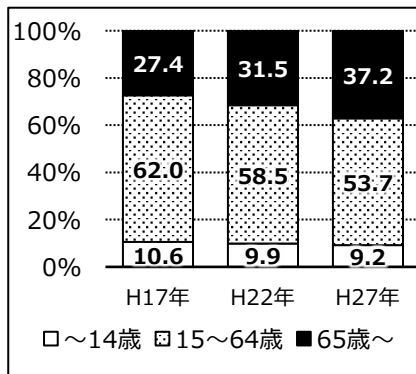
■ 朝里地域



■ 銭函地域



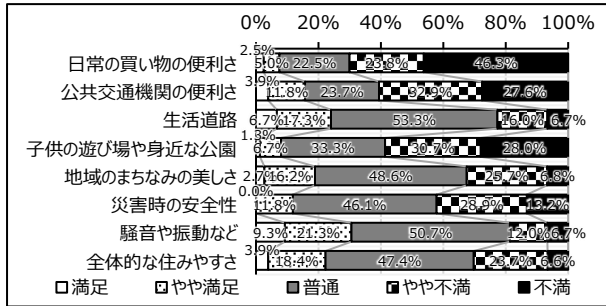
■ 全市



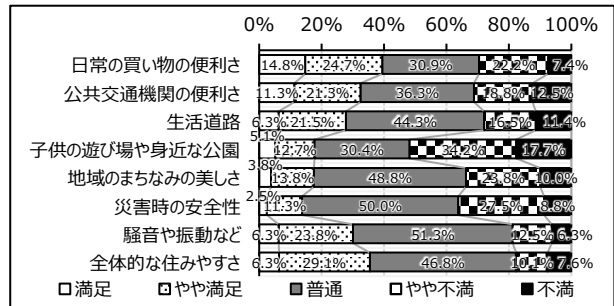
(資料：各年国勢調査)

3) 地域周辺の生活環境について（市民アンケート調査結果より）

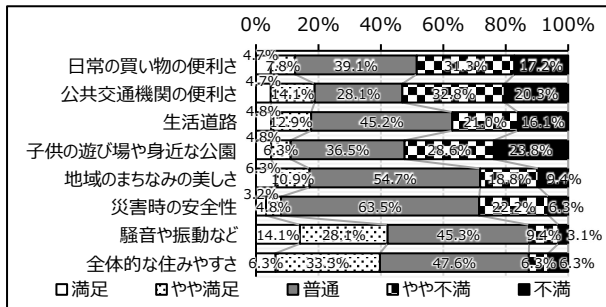
■塩谷地域



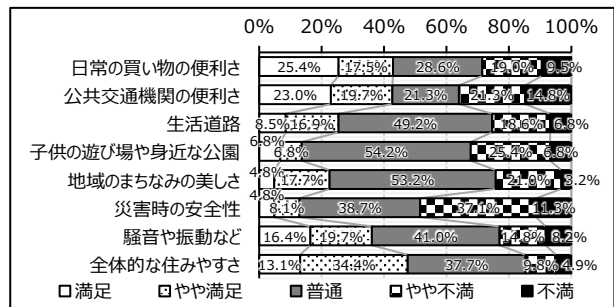
■長橋・オタモイ地域



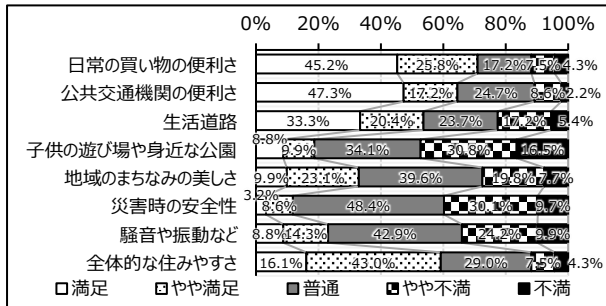
■高島地域



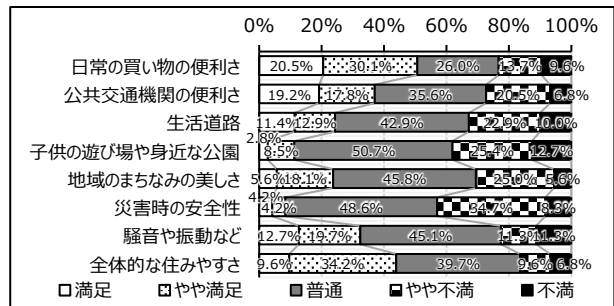
■手宮地域



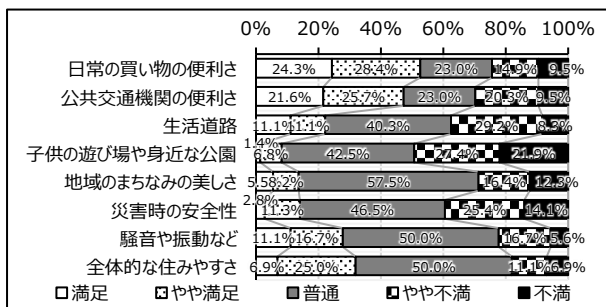
■中央地域



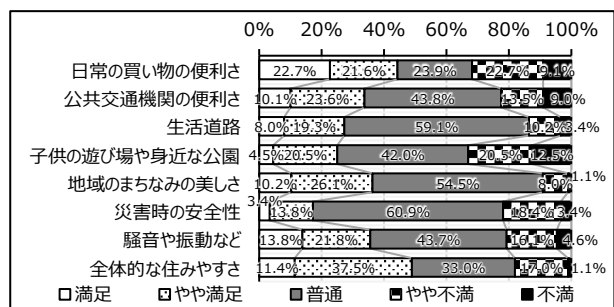
■山手地域



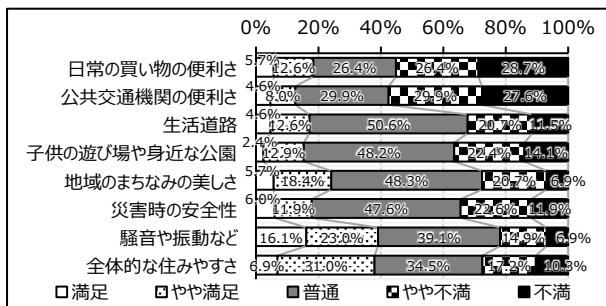
■南小樽地域



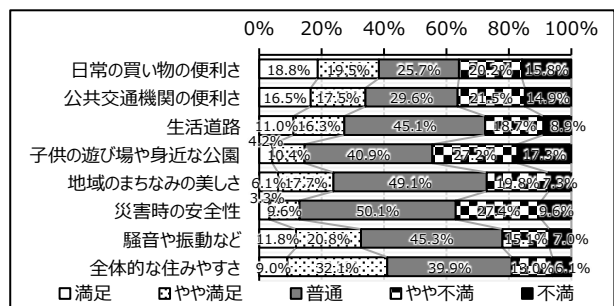
■朝里地域



■銭函地域



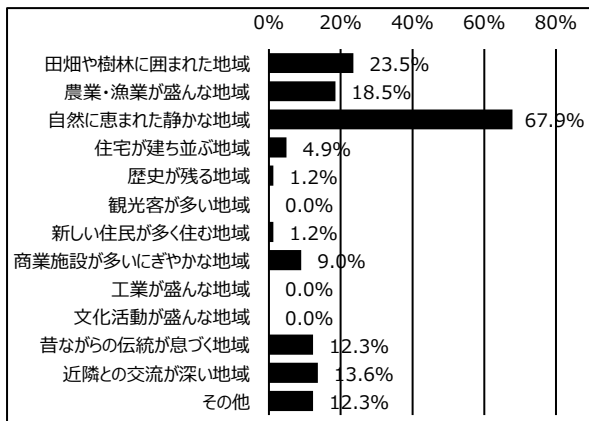
■全市



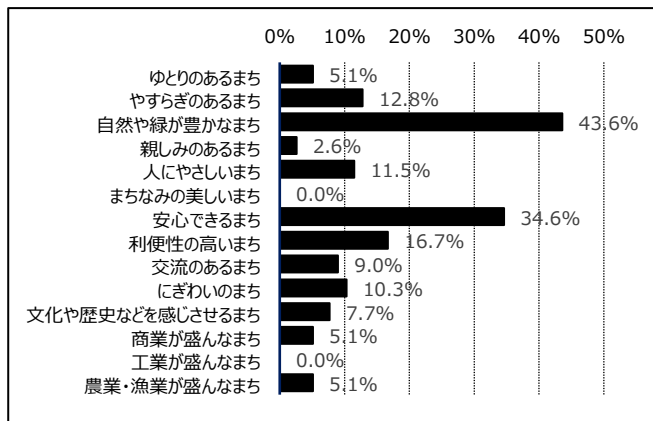


4) 地域別における地域のイメージ（現在・将来）（市民アンケート調査結果より）

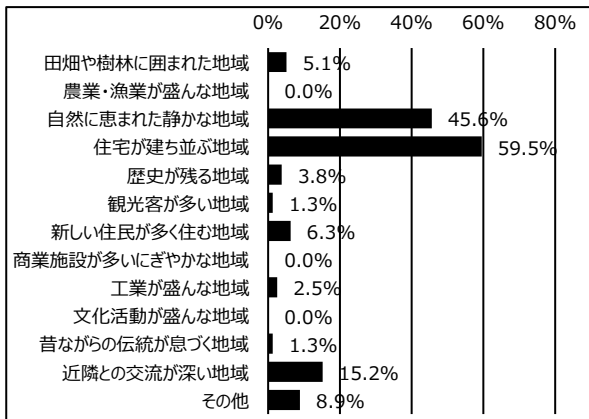
■ 塩谷地域（現在）



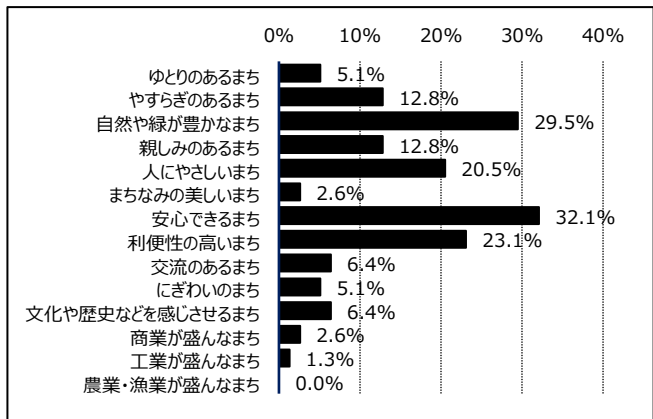
■ 塩谷地域（将来）



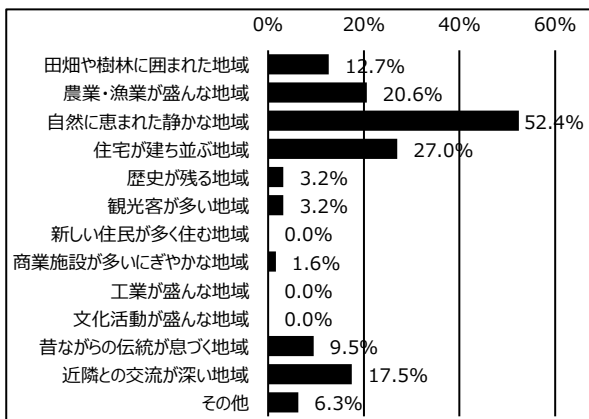
■ 長橋・オタモイ地域（現在）



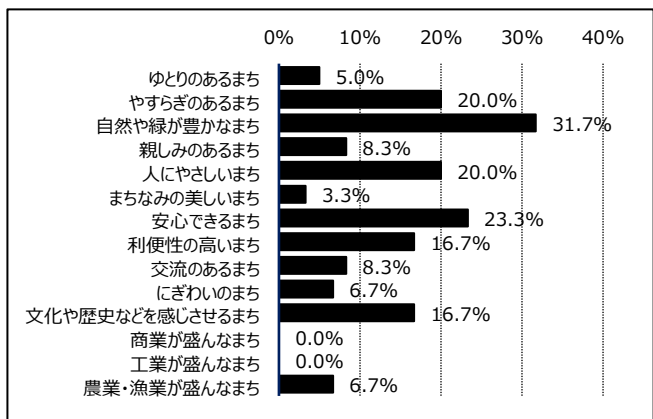
■ 長橋・オタモイ地域（将来）



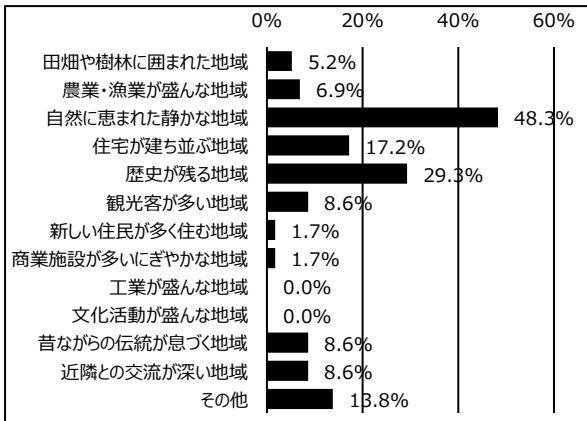
■ 高島地域（現在）



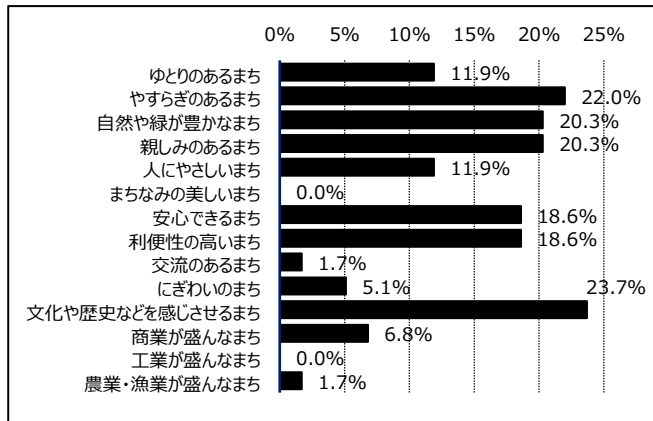
■ 高島地域（将来）



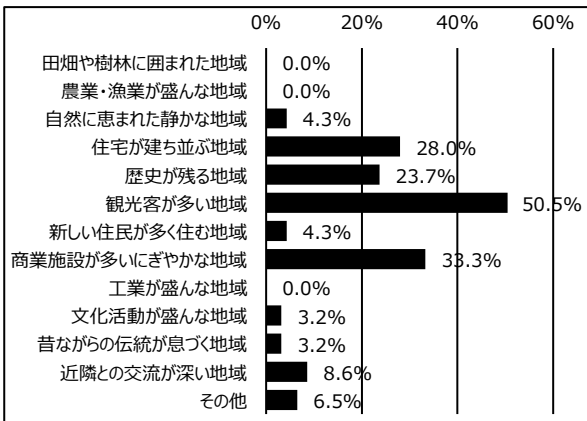
■手宮地域（現在）



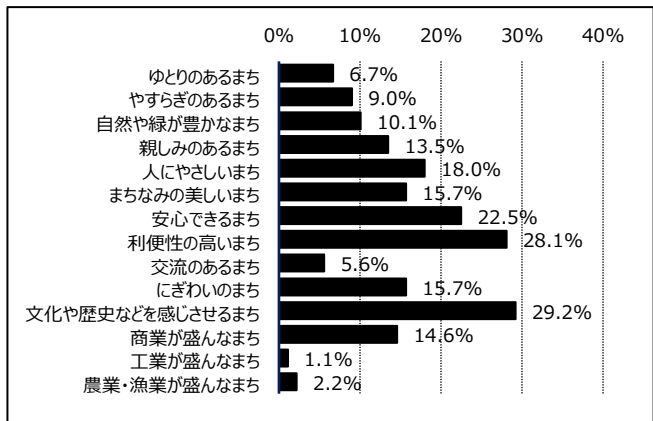
■手宮地域（将来）



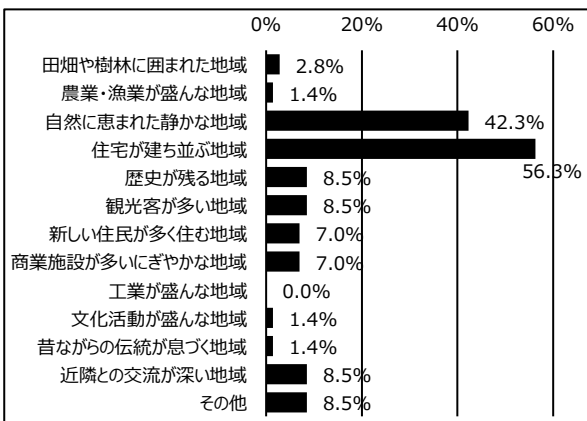
■中央地域（現在）



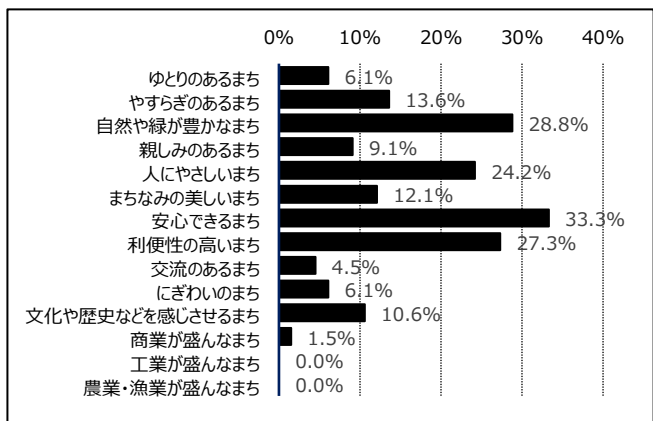
■中央地域（将来）



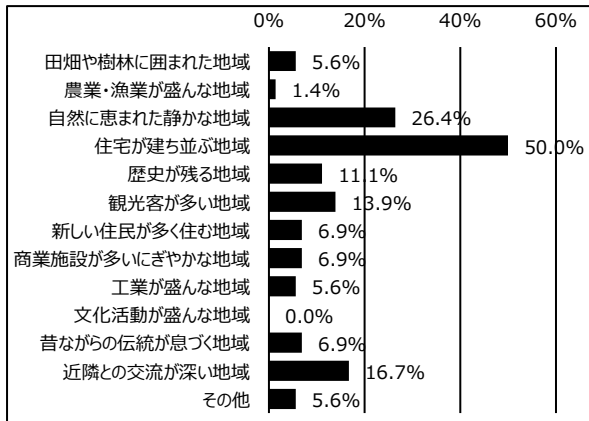
■山手地域（現在）



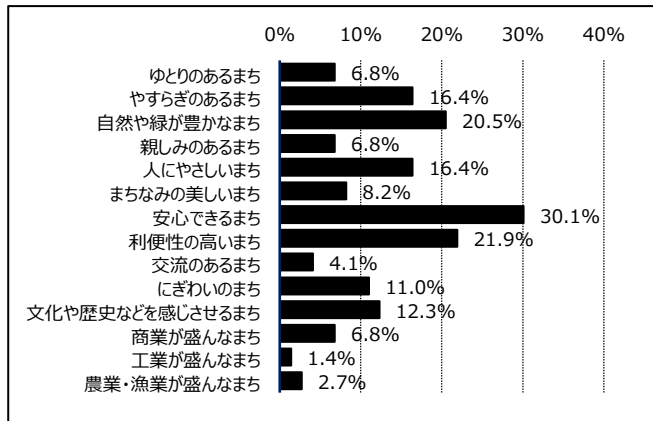
■山手地域（将来）



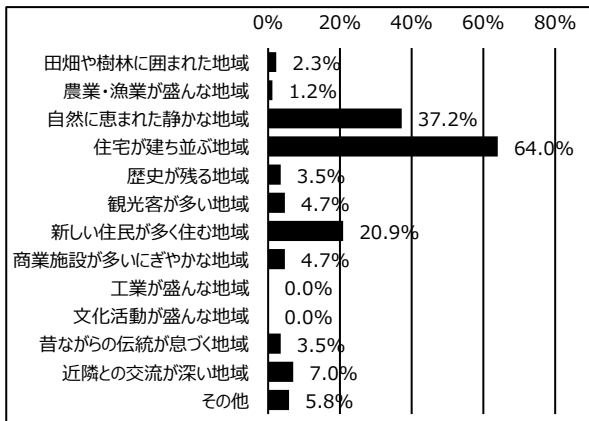
■南小樽地域（現在）



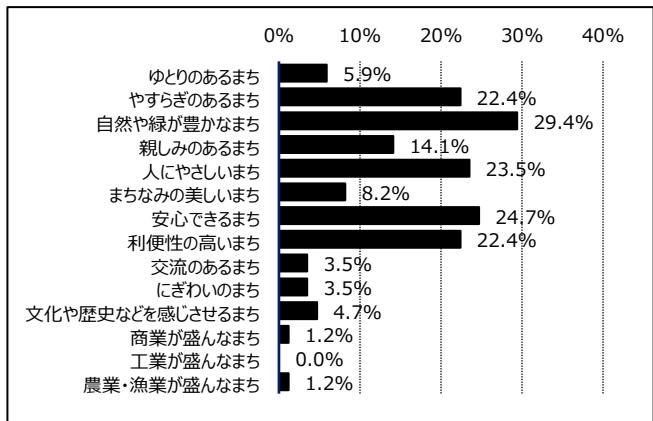
■南小樽地域（将来）



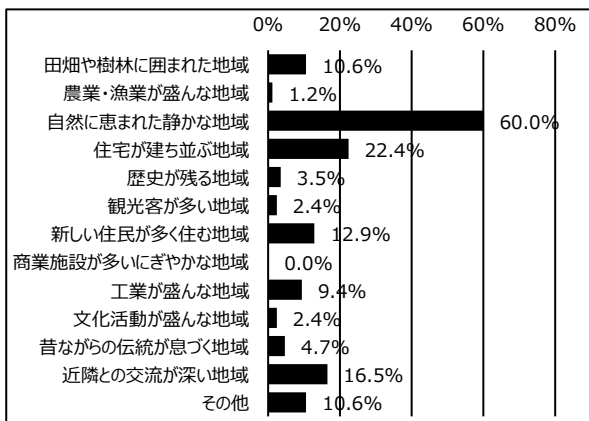
■朝里地域（現在）



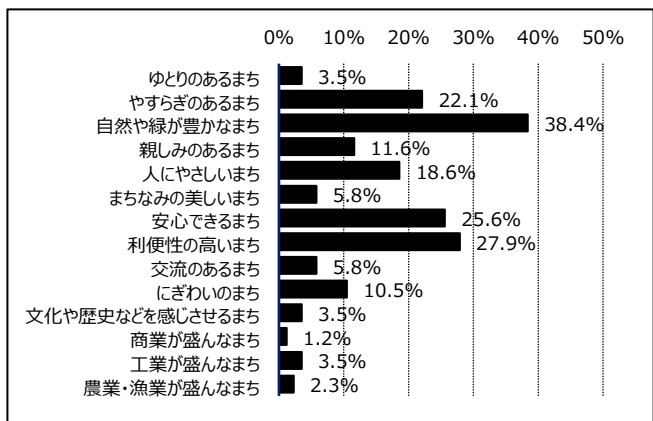
■朝里地域（将来）



■銭函地域（現在）



■銭函地域（将来）



5) 地域の宝物（市民アンケート調査結果より）

地域	地域の宝物	選んだ主な理由
塩谷地域	塩谷海岸（海水浴場）	海水浴場としてにぎわっているから。きれいな海だから。海岸線・海辺の景色を維持してほしいから。
	蘭島海水浴場	人が集まる場所だから。青い海と砂浜。
	塩谷丸山	自然が多く、動植物が豊富だから。景色が良いから。
	その他：ゴロダの丘・伊藤整文学碑、忍路湾、マイラシーク塩谷など	
長橋・オタモイ地域	長橋なえぼ公園	四季折々の鳥や花が見られ自然を楽しめる。自然を観察しながら散策できる。自然豊かな公園で、小動物と共存し、心癒されるから。大人も子どもも楽しめる。
	オタモイ海岸	景色がきれいだから。自然と向き合う感じがする。美しい景観だから。
	オタモイ唐門	不思議で珍しいから。
	その他：小樽桜陽高等学校からの眺望、やすらぎ荘など	
高島地域	おたる水族館	大人も子どもも楽しめるから。生き物の勉強になる。希少海洋生物の保護に取り組み誇れる施設だから。動物や魚類に心癒されるから。
	祝津パノラマ展望台	海と山がきれいだから。
	赤岩山	季節を感じられる。
	その他：赤岩海岸、高島岬、高島小学校、高島公園など	
手宮地域	手宮公園	夜景がきれい。景色が良い。小樽港を一望できるから。桜や梅が楽しめるから。四季を感じ散策することができるから。
	総合博物館	蒸気機関車や屋外展示車両があるから。素晴らしい電車の歴史を見ることができるから。
	運河公園	人が集まり、にぎやかだから。水遊びができる。噴水がきれい。
	その他：色内埠頭公園、中野植物園、旧国鉄手宮線、旧日本郵船(株)小樽支店、小樽運河、厩岸壁、手宮の祭りなど	
中央地域	小樽運河	小樽を象徴する施設だから。歴史ある運河は残す必要があるから。重要な観光資源だから。にぎわいもあり、街並みがとても素敵。
	小樽公園	運動環境が整備されているから。街なかであり、ジョギング、散歩が楽しめるから。四季を感じられ、見晴台からの海がきれいだから。
	旧国鉄手宮線	歴史を感じられる貴重な場所だから。整備された散策路で歴史と緑を感じられるから。散策路で適度なウォーキングができるから。
	その他：堺町・メルヘン交差点、水天宮、小樽図書館、龍宮神社、小樽市役所、JR 小樽駅、二段公園、勤労女性センター、能舞台、潮まつりなど	
山手地域	天狗山	自然が残っているから。冬はスキー、夏は軽登山が楽しめるから。四季折々の風情があるから。市街地が一望できるから。
	旭展望台	身近にあって、散歩を楽しみながら、市街地を眺望できるから。
	入船公園	子どもたちが遊べるから。
	その他：船見坂、からまつ公園、西陵中学校、カトリック富岡教会、中央墓地、妙見市場など	
南小樽地域	平磯公園	市街地や海が一望できるから。桜がきれいだから。四季を感じ、海岸線を見ることができるから。
	ウイングベイ小樽	小樽で唯一の大型商業施設だから。無くなると不便だから。
	奥沢水源地	観光名所になってほしいから。豊富な水資源として重要だから。歴史遺産だから。
	その他：勝納川、南樽市場、和光荘、臨海公園、住吉神社、JR 南小樽駅、龍徳寺、宗円寺五百羅漢像、穴滝など	
朝里地域	朝里川公園	子どもの遊び場だから。自然の中でウォーキングができる散策路があるから。きれいだから。
	望洋東公園	桜がいっぱいあるから。遊具があるから。
	東小樽海岸	景色がきれいで澄んだ気分になれるから。海水浴ができるから。
	その他：朝里川温泉地区、毛無山、熊碓神社、朝里川温泉スキー場、桜丘の上公園、朝里中央公園、潮見台浄水場など	
銭函地域	銭函の海	海がきれいだから。夏になるとにぎわうから。気軽に海で遊ぶことができるから。
	JR 銭函駅	海が一望できる。昔の面影を残す駅舎だから。
	張碓の海	景観が素晴らしい。白波・青い海と空・潮騒の音が貴重だと感じるから。
	その他：スノークルーズオーズ、ドリームビーチ、うたすつ公園、礼文塚川、銭函パークゴルフ場など	

6) 地域の宝物（地域別懇談会意見交換結果より）

※「将来に向けた対応」の各項目は、事業実施を前提としたものではありません。

地域	地域の宝物	将来に向けた対応
塩谷地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎塩谷海岸（海水浴場）</li> <li>◎塩谷丸山</li> <li>◎忍路海岸線</li> <li>◎田園的自然景観</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ゴロダの丘（伊藤整文学碑）</li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎住宅（市営・道営）</li> <li>◎学校</li> <li>◎病院</li> </ul> <p>【歴史・文化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎塩谷神社のお祭り</li> <li>◎忍路にしん番屋</li> <li>◎塩谷神社（松前奴保存会）</li> </ul> <p>【産業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎漁業・農業</li> </ul>	<p>【自然や景観】</p> <p>地域全体で自然や景観の維持に取り組み、引き継いでいきたいという意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎海水浴場・海岸線                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校や行政などを含め地域全体での海岸線清掃</li> </ul> </li> <li>◎塩谷丸山                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆スキー場等による観光向けの整備</li> <li>◆草刈り等の維持</li> <li>◆観光バス等の駐車場を整備</li> <li>◆桜、つつじ、紅葉等を植樹し公園を造る</li> </ul> </li> <li>◎ゴロダの丘（伊藤整文学碑）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆周辺環境の整備（草刈りや駐車場の整備）</li> </ul> </li> </ul> <p>【歴史・文化等】</p> <p>学校教育や地域において文化を受け継ぐ体制づくりが必要という意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域文化の伝承                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校教育による地域文化伝承等の体制づくり</li> </ul> </li> </ul> <p>【産業等】</p> <p>漁業・農業等の地域産業や特産物を生かし、観光振興につなげるという意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎漁業・農業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆漁業や農業の食糧基地的として、産業の活性化</li> <li>◆小樽塩谷インターチェンジの活用</li> <li>◆道の駅をつくり海産物や農産物の販売による観光振興</li> </ul> </li> </ul>
長橋・ オタモイ地域	<p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎町内会（人と地域のつながり）</li> </ul> <p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎オタモイ海岸◎街並み・景観</li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎長橋なえぼ公園</li> <li>◎しあわせ公園</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎オタモイ唐門</li> <li>◎龍宮閣跡</li> </ul> <p>【住まい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎住宅街としてのたたずまい。落ち着き。</li> </ul>	<p>【人】</p> <p>人と地域のつながりを大切にすることが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎町内会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆人とのつながりと地域の歴史の共有</li> </ul> </li> </ul> <p>【自然や景観等】</p> <p>地域と行政が協力して遊歩道や街並み等の景観を保つことが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎オタモイ海岸                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆展望台からの景勝を観光資源として活用</li> <li>◆遊歩道や竜宮閣の再整備により観光資源として活用</li> </ul> </li> <li>◎街並み・景観                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆歩道の植樹柵への植樹による街並み景観向上</li> </ul> </li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>地域の宝物として公園を整備することが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎長橋なえぼ公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市と地域の連携による公園のさらなる活用</li> <li>◆自然環境の保全</li> </ul> </li> <li>◎しあわせ公園                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民の憩いの場所の確保</li> </ul> </li> </ul>

地域	地域の宝物	将来に向けた対応
高島地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎赤岩遊歩道 (小樽海岸自然探勝路)</li> <li>◎祝津パノラマ展望台</li> <li>◎滝</li> <li>◎ロッククライミングの練習場所</li> <li>◎青の洞窟</li> <li>◎自然(展望台に至る道)</li> <li>◎祝津海岸</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎祝津の歴史的建造物 (にしん番屋)</li> <li>◎茨木家中出張番屋</li> <li>◎恵美須神社(大桑)</li> </ul> <p>【観光等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎水族館・食堂(水族館等)</li> <li>◎鯨まつり</li> </ul>	<p>【自然や景観等】</p> <p>自然環境を保全し、観光資源として活用するという意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然環境を保全しつつ、観光資源として活用</li> </ul> </li> <li>◎海岸沿い(海岸・海岸線) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然観察や体験学習の環境の充実</li> <li>◆自然と人とのかかわりの場の創出</li> </ul> </li> </ul> <p>【観光等】</p> <p>水族館を整備することが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎水族館 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の老朽化対策</li> <li>◆施設へのアクセス向上とバス以外のアクセス手段の検討</li> </ul> </li> </ul>
手宮地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎栗林(手宮公園内)</li> </ul> <p>【文化・歴史等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎小樽稻荷神社</li> <li>◎古代文字</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎旧日本郵船(株)小樽支店</li> <li>◎旧国鉄手宮線・遊歩道</li> <li>◎旧トランスポーター (北炭ローダー基礎)</li> <li>◎石蔵群</li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎手宮公園</li> <li>◎中野植物園</li> <li>◎緑化公園(手宮公園内)</li> <li>◎学校跡地</li> <li>◎鱗友朝市</li> </ul>	<p>【自然や景観等】</p> <p>手宮公園内の栗林の景観を保つことが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎栗林 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然景観の保全</li> </ul> </li> </ul> <p>【文化・歴史等】</p> <p>小樽稻荷神社やてみや祭りを大事にすることが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎小樽稻荷神社 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆老朽化する建物等の保存手法の検討</li> <li>◆地域による祭りなどの文化の継承</li> </ul> </li> <li>◎古代文字 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共の場による情報発信</li> </ul> </li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <p>旧手宮線を維持していくことが意見として挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎旧手宮線・遊歩道 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の維持・保存と人の回遊性の向上</li> </ul> </li> <li>◎旧トランスポーター <ul style="list-style-type: none"> <li>◆歴史的遺産の保存と歴史的な価値の情報発信</li> <li>◆各施設(駅・旧手宮線・旧トランスポーター)をつなぐ仕掛けづくり</li> </ul> </li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>地域の宝物として手宮公園を維持・活用することが挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎手宮公園(緑化公園) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自然景観の維持・保全と活用</li> <li>◆公園内循環バスによる人を呼び込む仕掛け作り</li> <li>◆廃校跡地を含んだ有効利用</li> </ul> </li> <li>◎学校跡地 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの遊び場として学校跡地有効活用</li> <li>◆災害時の避難所指定</li> </ul> </li> </ul>

地域	地域の宝物	将来に向けた対応
中央地域	<p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎観光客</li> </ul> <p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎堺町通り◎花園町（啄木通り）</li> <li>◎花園グリーンロード</li> <li>◎都通り商店街のアーケード</li> <li>◎小樽駅から花園公園通りの商店街◎小樽駅前通り◎日銀通り</li> <li>◎アーケード街◎入船町◎色内通</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎日本銀行旧小樽支店◎水天宮</li> <li>◎旧国鉄手宮線◎小樽運河</li> <li>◎小樽公園通教会</li> </ul> <p>【文化・歴史等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎流星刀</li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎市役所◎図書館◎小樽公園</li> <li>◎花園会館◎小樽公園グラウンド</li> <li>◎小樽市公会堂◎商店◎銀行</li> <li>◎郵便局</li> </ul>	<p>【歴史・文化等】</p> <p>水天宮を整備して、沢山の人にお参りに来てもらうという意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎水天宮 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光客の回遊性の向上と境内の整備</li> </ul> </li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>公園や広場の清掃・整備が必要という意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎小樽公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域住民参加による公園の維持・保全</li> </ul> </li> <li>◎水の広場（花園グリーンロード内） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆施設の維持・保全と活用方法の検討</li> </ul> </li> <li>◎花園会館 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆建物の維持・修繕</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆上水道の老朽化対策による、安全な水の確保や防災対策</li> <li>◆小樽市産業会館（区分所有建物）の空ビル有効活用</li> <li>◆小樽駅周辺等の電線地中化による都市景観向上</li> <li>◆小樽市産業会館前の歩道橋撤去による都市景観向上</li> <li>◆小樽駅周辺の空き家・空き地の有効活用</li> <li>◆旧手宮線の周辺の不良空き家の対策</li> </ul>
山手地域	<p>【自然や景観等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎天狗山（天狗山スキー場）</li> <li>◎旭展望台</li> <li>◎高速道路からの眺望</li> <li>◎塩谷や奥沢の方へ流れる川</li> <li>◎坂</li> </ul> <p>【歴史的建造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎最上の寺</li> <li>◎旧末武牧場</li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎入船公園</li> <li>◎からまつ公園</li> <li>◎学校</li> </ul>	<p>【自然や景観等】</p> <p>自然景観を生かした散策路を整備し、観光振興を図り地域内外の人を呼び込むという意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎旭展望台 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆散策路やトイレなどの施設整備</li> <li>◆天狗山からつながる道路整備（小林多喜二の碑がある）</li> </ul> </li> <li>◎天狗山（天狗山スキー場） <ul style="list-style-type: none"> <li>◆スキー場の再整備と夏場の散策による施設有効活用</li> <li>◆「クリーン作戦」などによる地域住民の交流や活動の促進</li> <li>◆市民の憩いの場の検討</li> </ul> </li> </ul> <p>【都市計画施設や公共施設等】</p> <p>公園の整備について意見が挙げられています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域イベント等の施設整備の検討</li> </ul> </li> </ul> <p>【その他の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆市民が自然景観等を楽しめる散策路</li> </ul>

地域	地域の宝物	将来に向けた対応
<p>南小樽地域</p>	<p>【人】 ◎買い物客 ◎観光客</p> <p>【自然や景観等】 ◎勝納川の散策路◎奥沢水源地 ◎平磯公園からの景色◎港◎山 ◎道路にゴミがあまり落ちていない事。</p> <p>【歴史的建造物等】 ◎旧魁陽亭◎猪俣邸◎神社 ◎寺◎小樽港湾事務所</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ◎臨海公園◎南樽市場 ◎栗山公園◎住吉公園 ◎教育機関（潮陵・双葉） ◎医療機関 （市立病院・協会病院等） ◎若竹公園◎うぐいす公園 ◎奥沢記念公園</p> <p>【交通網等】 ◎北海道新幹線新小樽（仮称） 駅◎JR南小樽駅◎JR小樽築港駅</p> <p>【歴史・文化等】 ◎潮見が丘神社（松前神楽）</p>	<p>【自然や景観】 定期的な清掃・整備・イベント開催等の意見が挙げられています ◎勝納川の散策路 ◆景観に配慮し、親水性のある散策路の整備 ◆水害への防災対策整備</p> <p>◎奥沢水源地 ◆イベントなど市民が憩うことができる広場への有効活用検討 ◆魚の観察等の体験型施設の検討 ◆維持清掃による自然環境の保存</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 道の駅・駐車場整備やイベント等の意見が挙げられています ◎臨海公園 ◆港湾を生かしたイベント等による活用</p> <p>◎南樽市場 ◆道の駅の検討や市内に点在する市場巡りなど人が集まる仕組みづくり ◆駐車場整備</p> <p>【交通網等】 北海道新幹線新小樽（仮称）駅と他交通等と連携して観光振興する という意見が挙げられています ◎北海道新幹線新小樽（仮称）駅 ◆バス等の交通網と連携し、観光拠点への誘導</p> <p>◎JR小樽築港駅・JR南小樽駅 ◆北海道新幹線新小樽（仮称）駅への円滑な移動による利便性の 向上</p> <p>【歴史・文化等】 地域文化の伝承が必要という意見が挙げられています ◎潮見ヶ岡神社（松前神楽） ◆地域文化を伝承し、観光振興策の検討</p>
<p>朝里地域</p>	<p>【自然や景観等】 ◎オタルナイ湖◎街並みがきれい。 ◎落ち着いた住環境 ◎自然環境がよい。 ◎花植えなどの美化活動がある。 ◎朝里の海岸◎ワラビタイ川◎海 ◎うぐいすの鳴き声◎川・河川 ◎山◎温泉◎東小樽海岸</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 ◎朝里ダム◎道道1号線 ◎望洋東公園◎朝里川公園 ◎桜丘の上公園◎ちどり公園 ◎朝里の十字街 ◎地区内にある沢山の公園 ◎あかしや公園◎新光西公園 ◎さくら公園◎小中学校</p> <p>【歴史・文化等】 ◎熊碓神社の例大祭 ◎望洋台東公園の遺跡桜チャシ</p> <p>【交通網等】 ◎高速バスがある。 ◎買い物が便利。</p>	<p>【自然や景観等】 ビオトープの保全により、景観の向上を図るという意見が挙げられています ◎ワラビタイ川 ◆市民協働によりビオトープの保全・活用</p> <p>◎朝里川 ◆市民協働による朝里川遊歩道の整備</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】 防災等の整備が必要という意見が挙げられています ◎朝里川公園 ◆公園の利用向上と災害に対応した公園整備</p> <p>【歴史・文化等】 史跡について、市民へのPRが必要という意見が挙げられています ◎望洋台東公園の遺跡（桜チャシ） ◆市民との共有のため、遺跡に関する情報発信</p> <p>【その他の対応】 ◆地域内の交通の見直し ◆市民の安全・安心のため河川の防災対策（朝里ダム等）整備 ◆朝里川の橋りょう整備により地域内交通の利便性の向上 ◆毛無峠展望台の整備による景勝地の魅力向上</p>



地域	地域の宝物	将来に向けた対応
<p>銭函地域</p>	<p>【自然・景観等】            ◎海岸（海岸線）◎星置川            ◎張碓の恵比須島            ◎桂岡、見晴からの景観            ◎銭函◎ニシンの群来◎アオバト            ◎車窓からの風景◎大自然</p> <p>【歴史的建造物等】            ◎北海道開拓使仮役所            ◎運河の発祥（銭函運河）            ◎一原有徳氏の鉄のオブジェ（銭函駅前）            ◎張碓駅跡</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】            ◎銭函市民センター</p> <p>【その他】            ◎小樽カントリー倶楽部</p>	<p>【自然・景観等】            海岸の維持・管理や整備が必要という意見が挙げられています            ◎海岸            ◆適切な維持・管理による海岸侵食対策            ◆子どもの遊び場として砂場公園の整備            ◎景観            ◆老朽化した空き家の取壊しによる景観向上            ◎星置川            ◆親水性のある散策路整備 ◆河口の堤防の整備し公園化            ◎自然            ◆自然環境の保全により、良好な自然を未来へ残す</p> <p>【歴史的建造物等】            定期的な補修が必要という意見が挙げられています            ◎一原有徳氏の鉄のオブジェ            ◆芸術遺産の適切な補修</p> <p>【都市計画施設や公共施設等】            防災対策が必要という意見が挙げられています            ◎銭函市民センター            ◆地域コミュニティの場の確保と施設の維持・管理            ◎防災            ◆避難施設の耐震化や停電対策のほか、避難時のサイレン施設の設置</p> <p>【その他の対応】            ◆コンパクトなまちづくり            ◆工業団地の用途地域の見直しにより新たな活用を促進            ◆降りてみたいまち・住んでみたいまちにする            ◆小樽市全体を回る散策路の整備            ◆地域公共交通の利便性向上</p>

## **第2次小樽市都市計画マスタープラン**

令和2年（2020年）2月14日 決定

小樽市建設部都市計画課

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号

TEL : (0134) 32-4111(内 332)

FAX : (0134) 32-3963

E-Mail : [tosikei@city.otaru.lg.jp](mailto:tosikei@city.otaru.lg.jp)

<https://www.city.otaru.lg.jp/>

